



水産総合研究センター

高山 雄彦

平成24年度入庁

水産

## Q1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

漁業調査船「千葉丸」の運航管理や当センターの広報業務に携わっています。

船のメンテナンスや資材の調達など、水産職の中でも特に船や船員と深く関わる業務であり、船が好きな人には魅力的な仕事です。

また、水産まつり等の地域イベントへの参加や当センターの業務等を紹介する一般公開を通じて、千葉県の水産業・研究業務をPRしています。自分の企画した展示物で子どもたちが楽しそうに遊び、学ぶ姿を見るとやりがいを感じます。

## Q2 千葉県を志望した理由を教えてください。

小さい頃から魚が好きで、また地元である千葉県の魚や加工品を食べて育ったので水産業にとっても親しみを感じていました。水産系の大学で学んだ知識を生かして水産業の振興に携わり、自分の生まれ育った地域に貢献したいと思い千葉県を志望しました。

## Q3 「水産職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

水産職の業務は、水産物PR、施設整備、漁業調整、許可、資源管理、水産研究、普及指導など多岐にわたり、いずれも水産振興の上で重要な仕事です。業務内容により生産者との関わり方は異なりますが、水産業に携わる方一人一人に生活があり、家族があり、自分の仕事の方々の人生に寄り添っているという認識を持ち仕事をするよう心がけています。

## Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

千葉の水産業をより「利益が得られる」産業にすること、そのための水産職として、様々な業務を通じて漁業関係者をサポートしていきたいと思います。

特に漁業者との距離が近い普及指導に係る仕事に取り組みたいです。

## Q 5 受験生へ一言

千葉県は変化に富んだ海岸線を有し、多種多様な水産資源に恵まれた全国有数の水産県です。千葉県の水産業と一緒に盛り上げていきましょう。



### 異動経歴

H24年採用	勝浦水産事務所
H28年	農林水産部漁業資源課
H31年	水産総合研究センター

